

2005.9

- 調査時点 平成17年10月調査（9月末時点）
- 対象企業 150社
- 回答企業 95社

（一般機械器具23社、金属19社、プラスチック8社、精密機器6社、縫製6社、鉄鋼・非鉄4社、電気機器21社、輸送用機器8社）



対前年同月比

全業種での生産高は、前回調査時（6月末時点）に引き続き、マイナス傾向を示している。

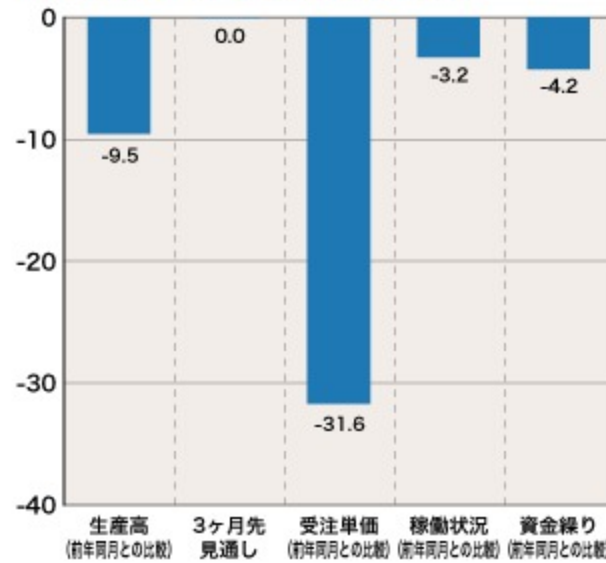
業種別では、「電気機器」が僅かながらプラスに転じたものの、「プラスチック」「精密機器」「鉄鋼・非鉄」が横ばい、「金属製品」「縫製」「一般機械器具」「輸送用機器」がマイナスとしている。

受注単価・資金繰りの状況でも、前回調査に引き続きマイナス傾向となっている。

受注単価では、「鉄鋼・非鉄」を除くすべての業種でマイナスとしている。特に「精密機器」「プラスチック」「金属」ではその傾向が大きい。

資金繰りでは、「電気機器」がプラスとし、「精密機器」「縫製」「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」が横ばい、「一般機械器具」「金属」「プラスチック」がマイナスとしている。

■全業種の受注動向（グラフA）



3か月先見通し

前回調査時（6月末時点）に比べ僅かながら下降した。業種別での見通しでは、「精密機器」「一般機械器具」ではプラスの傾向にあるが、「金属」「プラスチック」「輸送用機器」では横ばい、「縫製」「鉄鋼・非鉄」「電気機器」ではマイナス傾向にあり、依然として厳しい状況にある。

■業種別の受注動向（グラフB）

